

普及活動情勢報告（令和3年8月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

ドローン防除をみよう！

・・・幡多ブロック青年農業士連絡協議会研修会・・・



7月21日、四万十市でドローン研修会を開催し、幡多ブロック青年農業士5名が参加しました。

今回は、四万十市の集落営農組織「山路営農組合」のドローン防除の様子を見学した後、意見交換を行いました。

参加者からは「導入コストや維持費は？」「使用可能な品目は？」「一日あたりの散布面積は？」など活発に質問が出され、営農組織の組合員から具体的な説明を受けました。

農業改良普及課は、今後も青年農業士の組織活動を支援していきます。

「幡多のトマトここにあり」を目指して！

・・・よさこいミディ反省会・・・



7月27日、四万十市農業研修施設「あぐりっこ」で中玉トマト（ミディトマト）の反省会が開催され、農家7名が参加しました。

JAからは、高知県のトマト販売について説明があり、農業改良普及課からは、中玉トマトの販売戦略と、湿度管理による葉かび病の抑制方法を提案し、後日勉強会を開催することとなりました。

農業改良普及課は、炭酸ガス施用技術、バランスシートの活用による草勢コントロールや病害対策など、様々な技術支援を行っています。

イチゴの良質苗生産に向けて！

・・・イチゴ現地検討会・・・



7月28日、四万十市でイチゴの育苗期における現地検討会が開催され、農家6名と関係機関4名が参加しました。

イチゴの育苗管理は5月から9月末まで続くため、長期間にわたり病虫害防除や肥培管理等を行い、健全な苗を育成する必要があります。

農業改良普及課からは発生すると甚大な被害を及ぼす炭そ病の防除を徹底するよう呼びかけました。農家からは、「防除のタイミングは朝と夕方どちらがよいか」という質問があり、基本的には夕方だが、翌日の天気を見て判断するよう指導しました。

今後も引き続き巡回指導を行い、無事に定植を迎えられるよう支援していきます。

令和3園芸年度のナス栽培を反省！

・・・大月町施設部会総会・・・



7月30日に大月町施設部会の総会が開催され、11戸の農家が参加しました。

総会では、令和3園芸年度の活動報告及び令和4園芸年度の活動計画が承認されました。農業改良普及課は、総会終了後にナス栽培の反省点と、病害防除および誘引方法等について講習を行いました。

農家からは「番線の幅はどれ位にしたらよいのか?」、「天敵の放飼時期は?」などの質問がありました。

農業改良普及課は、引き続き実証調査や現地巡回を行い、大月町施設部会の活動を支援していきます。

次作の目標収量は？

・・・新規就農者との面談・・・



8月4、5日、黒潮町で新規就農者や研修生など11戸を対象に関係機関で面談を行いました。

面談では令和3園芸年度の収量、販売実績や営農面の課題、経営状況を農家と確認した後、令和4園芸年度の目標収量や改善に向けた取り組みについて話し合いました。

参加したキュウリ農家からは「次作は年内の防除を徹底して25t/10aをめざしたい」などの目標が聞かれました。

農業改良普及課は、新規就農者の所得目標達成に向け、関係機関と連携して支援を継続します。

IoT クラウド「SAWACHI」について学ぶ！

・・・幡多地区環境制御技術研究会研修会・・・



8月6日、幡多地区環境制御技術研究会の主催による研修会が宿毛市と黒潮町で開催され、10戸の農家が参加しました。

研修会では、「これから高知県の施設園芸で取り組まれるIoTプロジェクトについて」と題し、農業イノベーション推進課が「SAWACHI」の活用方法や今後の計画について説明しました。農業改良普及課は事務局として、研修会の設営と司会などを行いました。参加者は取り組みに理解を示しつつも、初めて聞く農家からは「なかなか難しい取り組みやね」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も幡多地区環境制御技術研究会の活動を支援していきます。